

日本でチャレンジャーの人気を押し上げた立役者と言えば、誰もがラグジ・ 島澤氏の名前を挙げるだろう。これまで様々なカスタムモデルを提案して 来たが、その足元は常に WORK が支えて来た。新たにスタートするカス タムモデルにも、WORK の輝きが彩りを添える。

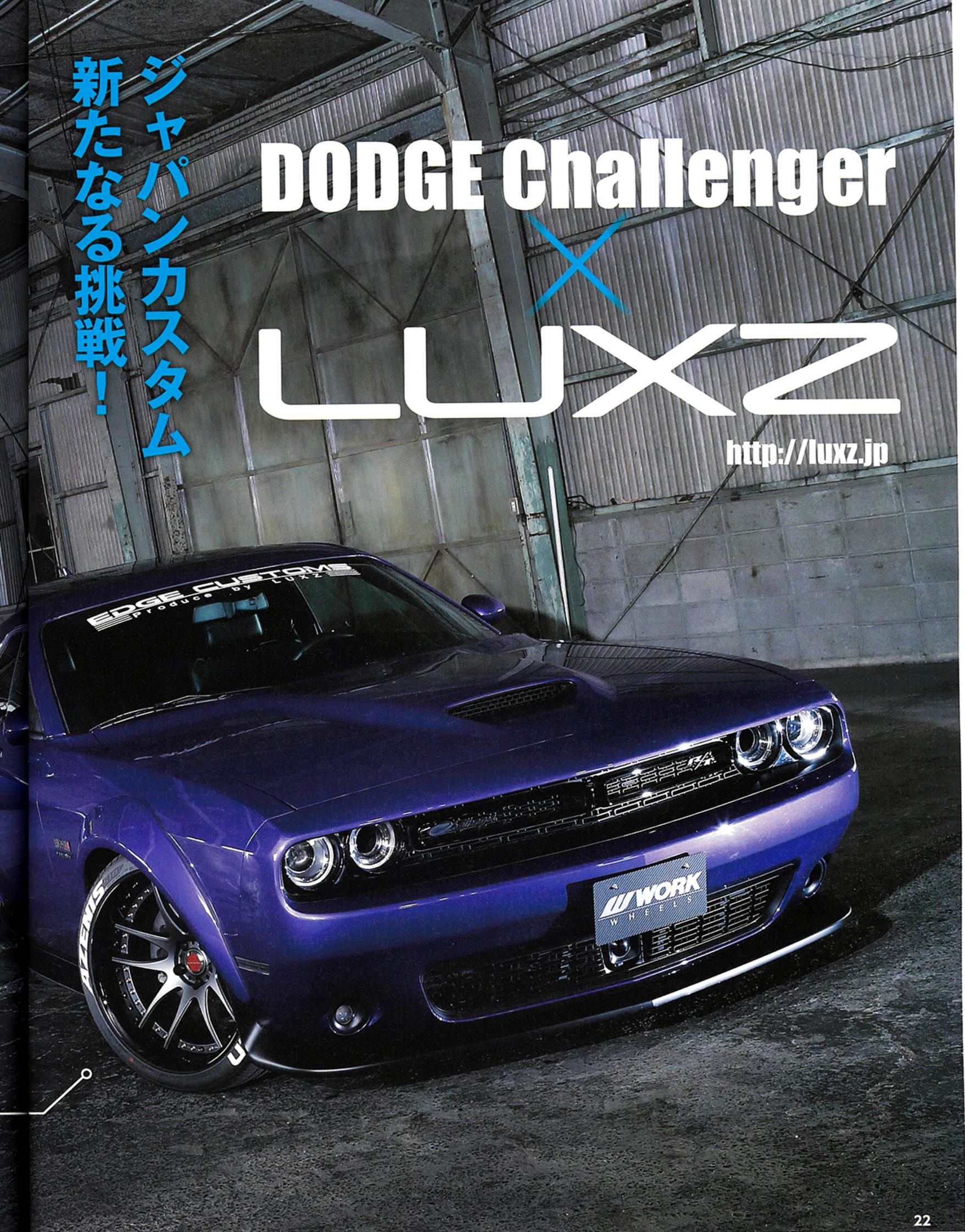
★ Photo: 浅井岳男 ★ Text: 空野稜

日本発のカスタム故に日本製のリムを組む

に対する。 に対することが多い。確かには を展示することが多い。確かには を展示することが多い。確かには を展示することが多い。確かには が施されたRラインやMラインを展示することが多い。確かには がが発生しており。そういったを がが発生しており。そういったを がが発生しており。そういったを を展示することが多い。確かには がが発生しており。そういったを を展示することが多い。確かには がが発生しており。そういったを を表うれたのが、今回紹介するの をのデモカーだ。 日ユーザー向けの内容で、ノーー ないが、ある意味そこが狙いです ある。どちらかと言うとエントル までチャレンジャーそのもののの ッコ良さを引き出す。

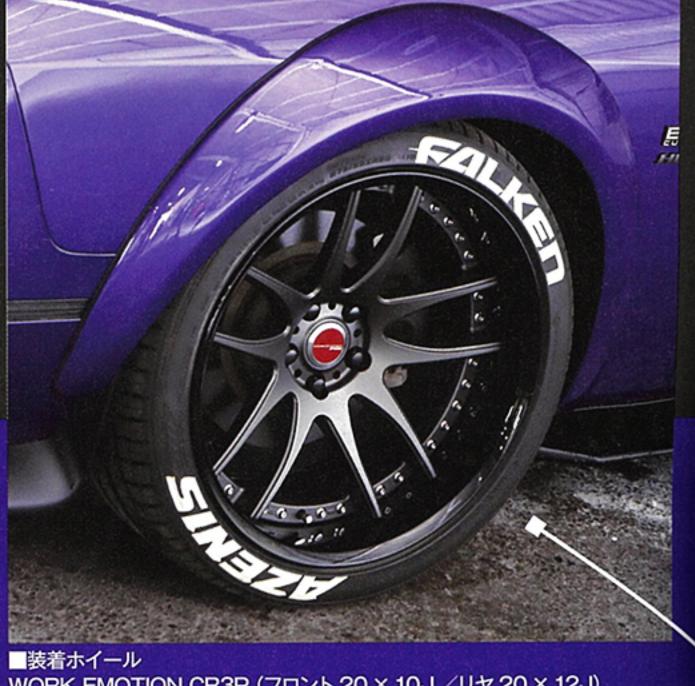


https://www.work-wheels.co.jp



Mラインのオーバーフェンダーを追加し た事で、フロントは275/35R20、リヤは 315/35R20 と非常にワイドな FALKEN AZENIS を装着。ノーマルボディにセット された車高調やマフラーに加え、リヤデ ィフューザーやトランクスポイラーも追加。 ノーマルのフロントリップと相まって、レ ーシーなスタイルを作り上げている。ホイ ールは WORK EMOTION CR3 で、フロン トは 10J リヤは 12J。ワイド化したことで マイナスオフセットのホイールが装着でき、 コンケーブデザインが強調されたサイズが 選べるのがポイント。ディスクカラーはマ ットカーボン、リムは特注のブラックアル マイトとなる。







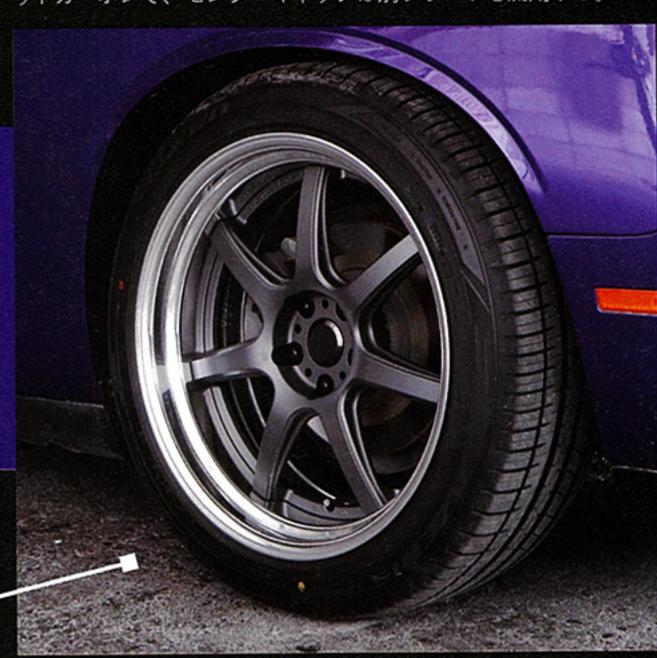




ボリューム感を増したワイドボディと調和する

https://www.work-wheels.co.jp/

チャレンジャーが欲しいけど、カスタムまで予算が出せない… と嘆く若人に提案したいのがこの仕様。カスタムポイントを絞 ることでシンプルさを残しつつも、ノーマル+100万円で、圧 倒的にカッコ良く見せる。タイヤは FALKEN AZENIS で前後共 245/45R20 をチョイス。ホイールは WORK EMOTION T7R2P で、フロント9Jリヤ10Jをセット。マッスルカーらしさを残すた めやや厚みを感じさせるサイズを組み合わせており、リヤは意図 的に引っ張り感を演出。また、敢えてステップリムを組み合わせ ることで、クラシカルな雰囲気も醸し出す。ディスクカラーはマ ットカーボンで、センターキャップは別ブランドを流用する。



■装着ホイール WORK EMOTION T7R2P (フロント20×9J、リヤ20×10J)



